

第3回 ENGase 研究会のご案内

エンド- β -N-アセチルグルコサミニダーゼ (ENGase) は、N-型糖鎖の還元末端の GlcNAc の間を切断する酵素であり、これまで ENGase に関する数多くの優れた研究が日本から発信されてきました。一方、ENGase の実用化研究も進み始めており、今後ますますその基盤的研究が重要になると考えられます。

下記の通り、ENGase の諸性質や機能、産業利用等に関する第3回 ENGase 研究会を開催いたします。本酵素の研究をされている方はもちろんのこと、ご関心のある方はふるってご参加ください。

日時：2017年7月18日(火) 13:30~16:45

場所：旭川トヨーホテル (北海道旭川市7条7丁目32-12)

<https://www.toyo-hotel.net/access>

プログラム

13:30~13:40 開会の挨拶

13:40~14:15 藤平陽彦 (理研・順天堂大)

ENGase 欠損により回避可能/不可能な Ngly1 欠損マウスの表現型

14:15~14:50 石井希実、須永千恵、永田光穂、松尾一郎 (群馬大)

ENGase 活性測定基質の開発—糖鎖構造のバリエーションを増やす—

休憩

15:10~15:35 月村亘 (野口研)

ENGase の基質特異性を利用した均一糖鎖構造を持つ抗体の調製

15:35~16:10 山口芳樹 (理研)

ENGase を用いた抗体への糖鎖導入の条件検討

16:10~16:45 千葉靖典、小松崎亜希子 (産総研)、喜多島敏彦 (江南大学)

構造モデリングによる Endo-Om の変異体解析

参加費：無料 申し込みの必要はありませんので、直接会場にお越しください。

終了後、懇親会を予定しております。参加希望の先生は、7月7日(金)までに千葉靖典 (y-chiba@aist.go.jp) 宛ご連絡ください。

第3回 ENGase 研究会 世話人 鈴木匡 (理研)、千葉靖典 (産総研)

*本会の開催は水谷糖質科学振興財団の支援を受けて開催されます